

# 社会に生かせるはたちの力

## 157人の成人、おめでとう

### 自分の内面を見据える 厳しい目を持つとう

今、たいへん恵まれた時代に生きている。あらゆるチャンスが待っている。せっかくのチャンスが無駄にせず、自己の内面を見据える厳しい眼をもち、どんなときにもチャレンジ精神を忘れないで、「国際化時代にふさわしい日本人」をめざしてほしいと思います。

(プロスキーヤー三浦雄一郎氏  
「新成人に贈ることば」より)

### 成人としての 自覚を

わたしたちは、二十歳になると成人として多くの権利、義務が生まれます。

まず、選挙権が与えられます。そして投票をすることで国の政治や地方政治に参加することができるのです。

しかし、実際に投票できるようになるには、「選挙人名簿」に登録されていなければなりません。選挙人名簿に登録される資格は

- ①その市町村に住所を有する日本人で
- ②三か月以上住民基本台帳に登録されている
- ③満二十歳以上の人です。

大切な選挙権を有効に使った

めにも、引越など住所を変えたときは、必ず住民票の移動を出してください。

また、会社や役所、学校などに勤めて給与をもらっている方は厚生年金、共済年金といった年金に自動的に加入しています。国民年金は、厚生年金など、職場の年金制度に加入していない、二十歳から五十九歳までの人が加入する制度です。

『虎は千里を行って、千里を帰る』という諺があります。一般には、「勢いの盛んなこと」の例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。さて、その虎は何をしに千里の道をあわてて帰るのでしょうか。

実は、虎は自分の子供のこと、心配で戻るのが怖いのです。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが、大変に子供を大切にするのでそうです。『虎の子』と言う言葉もこのあたりから来たのでしょうか。

虎はエトの動物たちのうち、日本に棲んでいない唯一の動物です。もともと、辰(竜)もいませんが、これは想像上の動物です。虎は中国をはじめ、東南アジアなどには広く分布しています。

この制度は、年をとって働けなくなったときの老齢年金、加入中の病気やケガで障害者になつたときの障害年金、ご主人を亡くされ母子世帯となつたときの母子年金など、加入者や遺族の生活の安定を図ることを目的としています。

若い時は「老後はまだまだ先」と考えがちですが、老後の生活設計は今から準備しておかなければ、エトのつくられた中国では、なじみのある動物だったのです。

もともと、虎は日本で見ることができないにもかかわらず、その存在はかなり早くから知られていました。七世紀までに書かれた日本書紀にはすでにその名が出ていますし、天武天皇の

『虎の尾をふむ』、『虎口をのぐれ』などいろいろあります。いずれも虎が強いもの、危険なものとして登場しています。では虎の巻とはどういうことかと調べてみましたら、中国古来の兵法書、つまり、いくさの仕方を教える書物に由来する言葉のようでした。

## 今年寅年

朱鳥元年(六八六年)には虎の皮が大陸から渡来しています。そして、大陸文化とともに、虎に関する故事、諺がいろいろ伝えられ、いまでも広く知られています。

たとえば、日ごろなんとなく使う『虎視たんたん(眈眈)』をはじめ、『虎の威をかる狐』、

ればならないことです。二十歳は国民年金の出発点です。

成人としての自覚を持って、国民年金に加入しましょう。

### 町民会館で

### 成人式式典

一月十五日

ところで、最近では乱伐や焼畑農業によって熱帯雨林が減少し、森林に棲む虎の生存も脅かされています。本当に恐ろしいのは、虎よりも人間の所業だということです。虎年を契機に自然保護の大切さをもう一度みんなで考えたいものです。

